アートフロア

# 温水式床暖房仕上げ材用 施工説明書

必ずお読みください

NANKAI PLYWOOD 南海プライウッド株式会社
本社 〒760-0067 香川県高松市松福町1-15-10

| | | | |
|---|---|---|---|
| 首都圏営業グループ | 首都圏 第1・2・3チーム | TEL(087)825-3621 | FAX(087)825-3645 |
| 東日本営業グループ | 北海道・東北営業チーム | TEL(087)825-3632 | FAX(087)825-3695 |
| | 関東甲信越営業チーム | TEL(087)806-3660 | FAX(087)825-3645 |
| | 中部営業チーム | TEL(087)825-3622 | FAX(087)825-3646 |
| 西日本営業グループ | 近畿営業チーム | TEL(087)825-3623 | FAX(087)825-3647 |
| | 中四国営業チーム | TEL(087)825-3624 | FAX(087)825-3648 |
| | 九州営業チーム | TEL(087)825-3625 | FAX(087)825-3649 |
| 特需営業グループ | 特需 第1・2・3チーム | TEL(087)825-3662 | FAX(087)825-3669 |


## 施工される方へ　施工前に製品をよくお確かめください。

**品質管理には万全を期していますが、万一品質に不都合な点がございましたら、販売店様または弊社営業まですぐにご連絡ください。施工前の製品に限り、販売店様を通じて良品と交換させていただきます。施工後の交換、補修はいたしかねますので必ず施工前のご確認お願いします。**

**ご注意**

ご使用になる前に必ずこの「施工説明書」をご一読いただきますよう、お願いいたします。
間違った施工を行ないますと製品の品質劣化や損傷につながる可能性があります。本書にそわず施工・取扱を行った場合については当社での保証はしかねますのでご注意ください。

## 施工上のご注意

屋外禁止
内装専用の製品です。屋外での使用はできません。

キズ注意
施工時に部材表面をキズつけないようご注意ください。

水・湿気禁止
屋内でも直接水のかかる場所や湿度の高い場所での使用はしないでくだ

火気厳禁
木質製品です。火気の取り扱いには充分お気をつけください。

テープ禁止
粘着テープ(セロハンテープ・シール等)を化粧面に貼らないでください。

重量物注意
重量物を置く場合は根太間隔を狭くするなど、充分な補強を行なってください。

土足厳禁
土足では使用できません。店舗など土足で上がる場所には使用しないでください。

接着剤注意
フロア表面に付着した接着剤はすぐに拭き取ってください。硬化すると取れなくなります。

反り・ねじれ厳禁
床下地に「たわみ」があると床鳴りの原因となります。根太・下地合板などに使用する木材は乾燥材で通直なものを選んでご使用ください。また、フロアに接する部分は平滑に調整してく

**温水式床暖房の仕上げ材として「アートフロア」を施工する場合は、本書に従って施工を行なってください。**

**仕上げ材厚み別タイプ例**

### 12mm仕上げ材対応　【アートフロア…12mm厚】

| | | |
|---|---|---|
| **東京ガス** | 小根太入り温水マット | … ① |
| **大阪ガス** | 小根太付温水マット | … ① |
| **東邦ガス** | 小根太入り温水マット | … ① |
| | 小根太入り温水マット5.5mm | … ③ |
| | 木質温水パネル12mm | … ② |

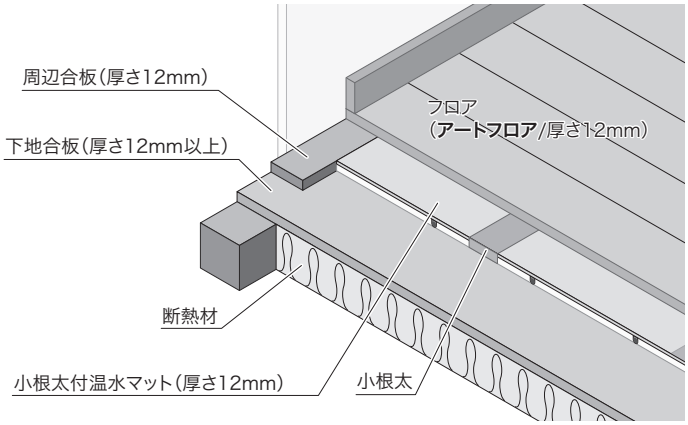
### 6mm仕上げ材対応　【アートフロア…6mm厚】

| | | |
|---|---|---|
| **東京ガス** | 小根太入り温水マット9mm | … ③ |
| | 小根太入り温水マット5.5mm | … ③ |
| **大阪ガス** | 小根太付温水マット9mm | … ③ |
| | 小根太付温水マット5.5mm | … ③ |
| **東邦ガス** | 木質温水パネル12mm | … ② |
| | 小根太入り温水マット5.5mm | … ③ |
| | 小根太入り温水マット12mm | |

(6mm仕上げは、小根太入り温水マット(12mm)への直接施工には対応していません。必ず、9mm合板(JASタイプ・F☆☆☆☆タイプ)の捨て張りをしてください。その後の施工方法は①をご参照ください。)

その他各種温水式床暖房に対応
**※面状発熱体(フィルムヒーター等)には対応していません。**

# ①小根太付温水マットの場合　【アートフロア／12mm】




**アートフロア　12mm製品**　●アートフロア リブル

### ご注意 施工について

- ●清掃をきちんとしてください。不具合の原因になるおそれがありますので、小根太付温水マットの表面を雑巾で拭いてください。
- ●小根太付温水マットの施工要領書に基づく施工が正確に出来ているか、床暖房システムが正常に作動するかを確認してください。
- ●床暖房を敷設する際は、あらかじめどの方向にフロアを設置するか確認のうえ、小根太付温水マットの敷設する向きを決めてください。
- ●室温5℃以上で作業をしてください。現場の環境が床材施工に不適な場合は作業を行なわないでください。

### ご注意 施工後について

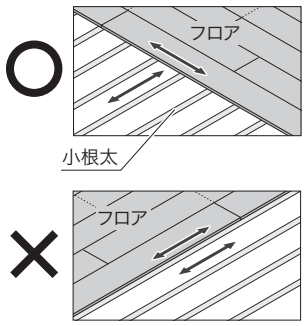
- ●掃除機などでゴミ・ホコリを充分に取り除いてください。
- ●特に汚れがひどい場合は堅く絞った雑巾で拭き取ってください。
- ●本製品は表面に充分な耐久性・意匠性をもたせたノンワックスタイプです。ワックスの使用はお控えください。もし何らかの理由でワックスがけを行なう場合は同梱の「取扱説明書」をお読みください。
- ●特に水濡れしやすい場所に施工する場合、必ず目地コーキングを行なってください。目地コーキングを行なわないと水の滲入（しんにゅう）により床鳴り・突き上げ・スキ・シワなどの原因となります。

## 1 下地の調整

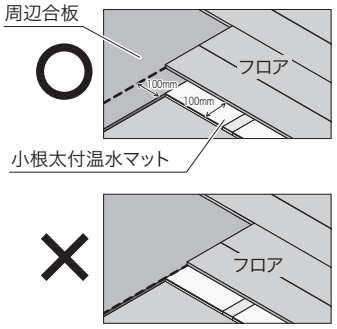
- ●下地材の強度が充分か、床鳴りがないか確認してください。
- ●小根太付温水マットの施工はメーカーの説明書およびマニュアルに従って施工を行なってください。
- ●周辺合板が濡れていないことを確認してください。含水率は13%以下としてください。（調べる場合は、電気抵抗式木材水分計で測定してください。）
- ●小根太付温水マットと周辺合板（12mm、JASタイプⅠ・F☆☆☆☆タイプ）とは段差のないよう仕上げてください。

## 2 割り付け

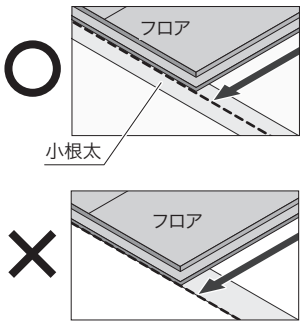
フロアは必ず小根太付温水マットの小根太と直交になるよう割り付けてください。



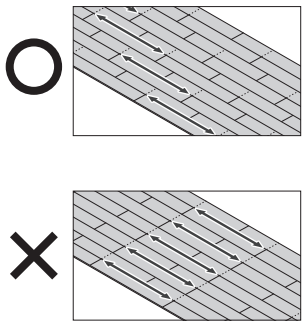

小根太付温水マットと周辺合板の継ぎ目が、フロアの継ぎ目と100mm以上離れるように割り付けてください。




小根太のセンターに必ず短辺サネ部がくるように割り付けてください。

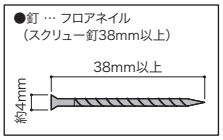


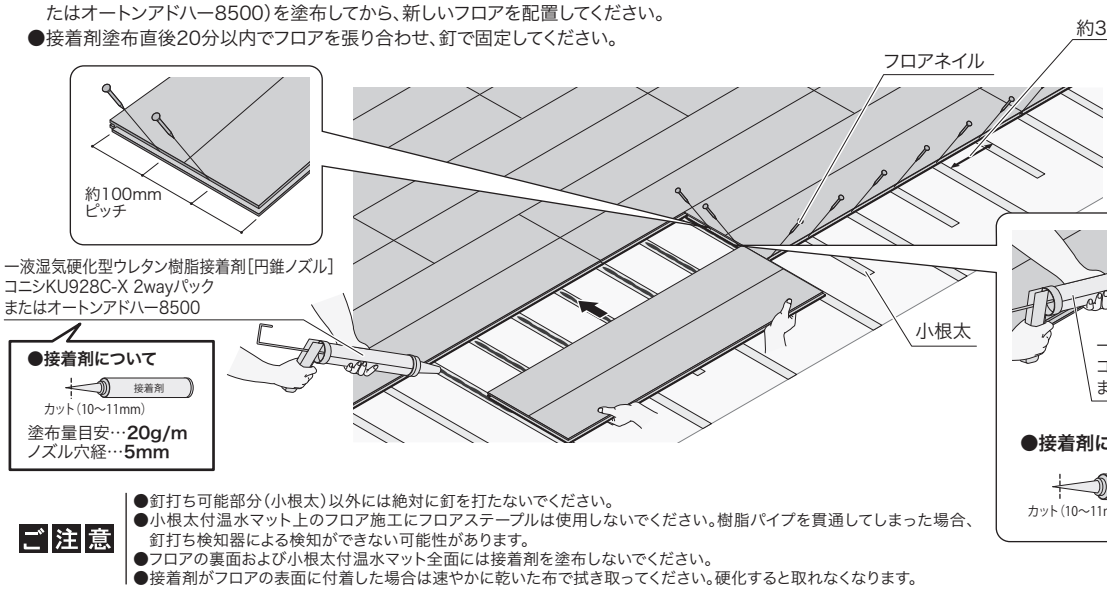

フロアは606mm・909mmずらし張り（柄によって異なる）のいずれかで割り付けてください。



## 3 施工

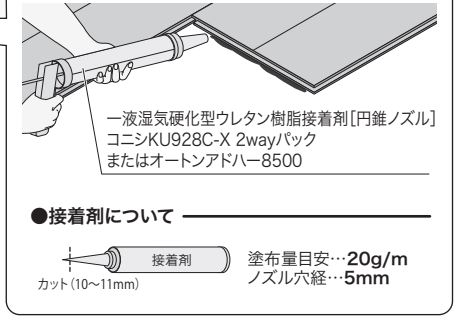
- ●小根太部分と小根太延長部分に、一液湿気硬化型ウレタン樹脂接着剤[円錐ノズル]（コニシKU928C-X 2wayパックまたはオートンアドハー8500）を塗布してください。
- ●フロアを配置し、長辺オスサネ部に約303mm（300mm以下）間隔、短辺オスサネ部に約100mm間隔で小根太部分に釘（フロアネイル/スクリュー釘38mm以上）を打ってください。（打ち込み角度50～60°）
- ●2枚目以降は、配置がすんだフロアの短辺オスサネ下部に必ず一液湿気硬化型ウレタン樹脂接着剤[円錐ノズル]（コニシKU928C-X 2wayパックまたはオートンアドハー8500）を塗布してから、新しいフロアを配置してください。
- ●接着剤塗布直後20分以内でフロアを張り合わせ、釘で固定してください。




### ご注意

必ずサネ接着をしてください。サネ接着を行なわないと目スキ・突き上げ発生のおそれがありますのでご注意ください。




### ご注意

- ●釘打ち可能部分（小根太）以外には絶対に釘を打たないでください。
- ●小根太付温水マット上のフロア施工にフロアステープルは使用しないでください。樹脂パイプを貫通してしまった場合、釘打ち検知器による検知ができない可能性があります。
- ●フロアの裏面および小根太付温水マット全面には接着剤を塗布しないでください。
- ●接着剤がフロアの表面に付着した場合は速やかに乾いた布で拭き取ってください。硬化すると取れなくなります。

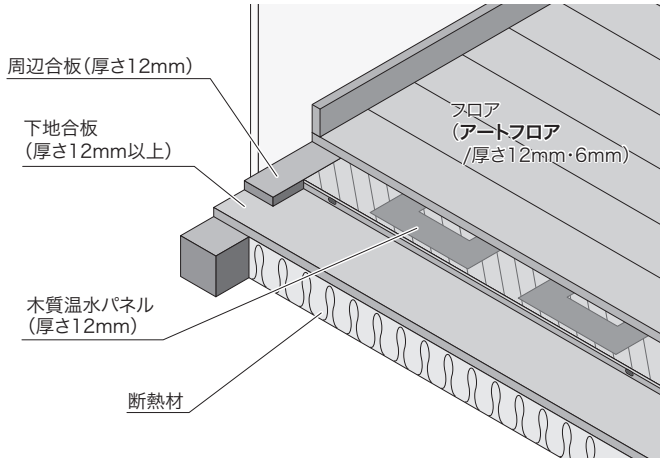
## 4 養生

- ●施工後は床をきれいに清掃し養生シートをかぶせ、養生テープで固定してください。養生シートの上から更に2.3mm以上の合板もしくはMDFなどで固定することをおすすめします。
- ●養生の際は必ず「木質床材用養生テープ」をご使用ください。
（推奨品：（株）寺岡製作所 P-カットテープ 415白）

## 5 運転

接着剤が完全硬化し、接着強度がでるまで5日以上（室温20℃の場合）必要です。ただし、軽歩行は24時間（室温20℃の場合）あれば可能です。また放熱板への通湯は、48時間経過してから行なってください。

# ②木質温水パネル(12mm)の場合　【アートフロア／12mm・6mm】




| | |
|---|---|
| アートフロア　12mm製品 | ●アートフロア　リブル |
| アートフロア　6mm製品 | ●アートフロアLIP6　オリジナル |

### ご注意 施工について

●清掃をきちんとしてください。不具合の原因になるおそれがありますので、木質温水パネルの表面を雑巾で拭いてください。
●木質温水パネルの施工要領書に基づく施工が正確に出来ているか、床暖房システムが正常に作動するかを確認してください。
●床暖房を敷設する際は、あらかじめどの方向にフロアを設置するか確認のうえ、木質温水パネルの敷設する向きを決めてください。
●室温5℃以上で作業をしてください。現場の環境が床材施工に不適な場合は作業を行なわないでください。

### ご注意 施工後について

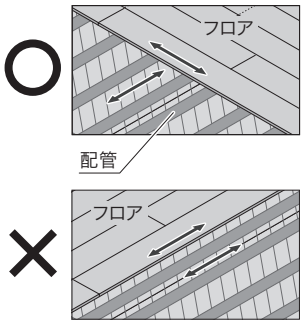
●掃除機などでゴミ・ホコリを充分に取り除いてください。
●特に汚れがひどい場合は堅く絞った雑巾で拭き取ってください。
●本製品は表面に充分な耐久性・意匠性をもたせたノンワックスタイプです。ワックスの使用はお控えください。もし何らかの理由でワックスがけを行なう場合は同梱の「取扱説明書」をお読みください。
●特に水濡れしやすい場所に施工する場合、必ず目地コーキングを行なってください。目地コーキングを行なわないと水の滲入(しんにゅう)により床鳴り・突き上げ・スキ・シワなどの原因となります。

## 1　下地の調整

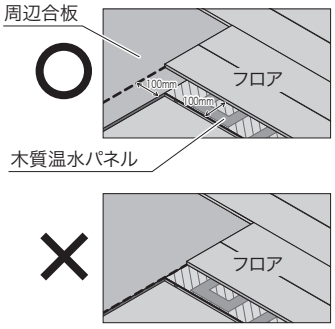
●下地材の強度が充分か、床鳴りがないか確認してください。
●木質温水パネルの施工はメーカーの説明書およびマニュアルに従って施工を行なってください。
●周辺合板が濡れていないことを確認してください。含水率は13%以下としてください。(調べる場合は、電気抵抗式木材水分計で測定してください。)
●木質温水パネルと周辺合板(12mm、JASタイプⅠ・F☆☆☆☆タイプ)とは段差のないよう仕上げてください。

## 2　割り付け

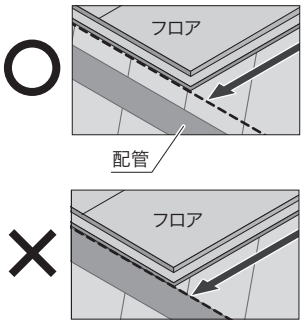
フロアは必ず木質温水パネルの配管方向と直交になるよう割り付けてください。



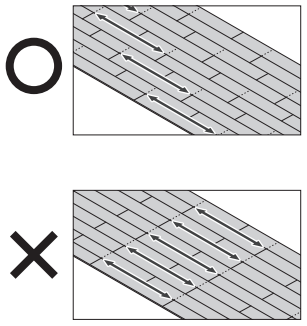

木質温水パネルと周辺合板の継ぎ目が、フロアの継ぎ目と100mm以上離れるように割り付けてください。




釘打ち可能部分上に必ず短辺サネ部がくるように割り付けてください。



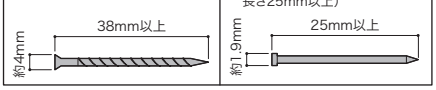

フロアは606mm・909mmずらし張り(柄によって異なる)のいずれかで割り付けてください。

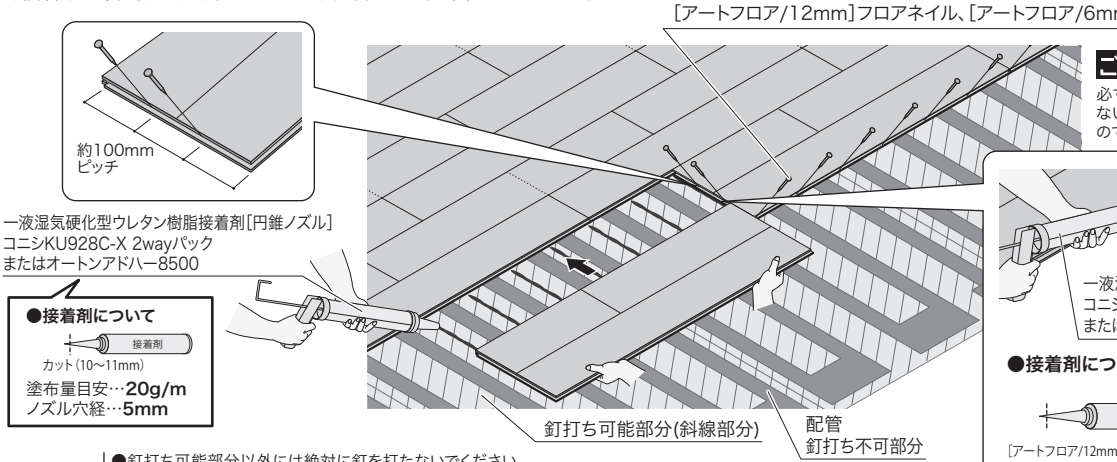


## 3　施工

●釘打ち可能部分に、一液湿気硬化型ウレタン樹脂接着剤[円錐ノズル](コニシKU928C-X 2wayパックまたはオートンアドハー8500)を塗布してください。
●フロアを配置し、長辺オスサネ部に約303mm(300mm以下)間隔、短辺オスサネ部に約100mm間隔で釘打ち可能部分に釘([アートフロア/12mm]フロアネイル、[アートフロア/6mm]フィニッシュネイル)を打ってください。
(打ち込み角度　[アートフロア/12mm]50～60°、[アートフロア/6mm]45°)
●2枚目以降は、配置がすんだフロアの短辺オスサネ下部に必ず一液湿気硬化型ウレタン樹脂接着剤[円錐ノズル](コニシKU928C-X 2wayパックまたはオートンアドハー8500)を塗布してから、新しいフロアを配置してください。
●接着剤塗布直後20分以内でフロアを張り合わせ、釘で固定してください。

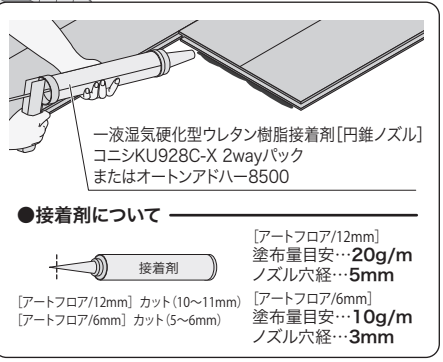
| アートフロア　12mm | アートフロア　6mm |
|---|---|
| ●釘 … フロアネイル<br>(スクリュー釘38mm以上) | ●釘 … フィニッシュネイル<br>(頭幅1.9mm/頭厚1.3mm/<br>長さ25mm以上) |




### ご注意

必ずサネ接着をしてください。サネ接着を行なわないと目スキ・突き上げ発生のおそれがありますのでご注意ください。




### ご注意

●釘打ち可能部分以外には絶対に釘を打たないでください。
●フロアの裏面および木質温水パネル全面には接着剤を塗布しないでください。
●接着剤がフロアの表面に付着した場合は速やかに乾いた布で拭き取ってください。硬化すると取れなくなります。

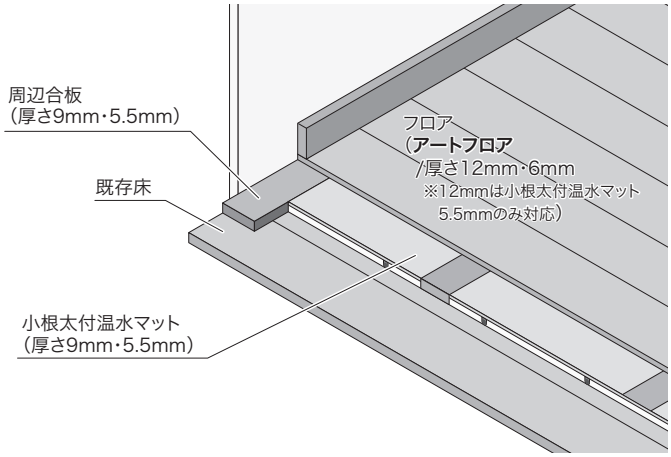
## 4　養生

●施工後は床をきれいに清掃し養生シートをかぶせ、養生テープで固定してください。養生シートの上から更に2.3mm以上の合板もしくはMDFなどで固定することをおすすめします。
●養生の際は必ず「木質床材用養生テープ」をご使用ください。
(推奨品:(株)寺岡製作所 P-カットテープ 415白)

## 5　運転

接着剤が完全硬化し、接着強度がでるまで5日以上(室温20℃の場合)必要です。ただし、軽歩行は24時間(室温20℃の場合)あれば可能です。また放熱板への通湯は、48時間経過してから行なってください。

# ③小根太付温水マット(9mm・5.5mm)の場合 既存床の上に敷設するタイプ 【アートフロア／12mm・6mm】




| | |
|---|---|
| アートフロア　12mm製品 | ●アートフロア　リブル　※小根太付温水マット5.5mmのみ対応 |
| アートフロア　6mm製品 | ●アートフロアLIP6　オリジナル |

### ご注意 施工について

- ●清掃をきちんとしてください。不具合の原因になるおそれがありますので、小根太付温水マットの表面を雑巾で拭いてください。
- ●小根太付温水マットの施工要領書に基づく施工が正確に出来ているか、床暖房システムが正常に作動するかを確認してください。
- ●床暖房を敷設する際は、あらかじめどの方向にフロアを設置するか確認のうえ、小根太付温水マットの敷設する向きを決めてください。
- ●室温5℃以上で作業をしてください。現場の環境が床材施工に不適な場合は作業を行なわないでください。

### ご注意 施工後について

- ●掃除機などでゴミ・ホコリを充分に取り除いてください。
- ●特に汚れがひどい場合は堅く絞った雑巾で拭き取ってください。
- ●本製品は表面に充分な耐久性・意匠性をもたせたノンワックスタイプです。ワックスの使用はお控えください。もし何らかの理由でワックスがけを行なう場合は同梱の「取扱説明書」をお読みください。
- ●特に水濡れしやすい場所に施工する場合、必ず目地コーキングを行なってください。目地コーキングを行なわないと水の滲入(しんにゅう)により床鳴り・突き上げ・スキ・シワなどの原因となります。

## 1 下地の調整

- ●小根太付温水マット施工後、異常なたわみや床鳴りがないことを確認してください。
- ●小根太付温水マットの施工はメーカーの説明書およびマニュアルに従って施工を行なってください。
- ●周辺合板が濡れていないことを確認してください。含水率は13%以下としてください。(調べる場合は、電気抵抗式木材水分計で測定してください。)
- ●小根太付温水マットと周辺合板(9mm、JASタイプⅠ・F☆☆☆☆タイプ)とは段差のないよう仕上げてください。

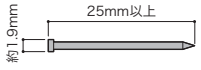
## 2 割り付け　※詳細図は表面①-2を参照

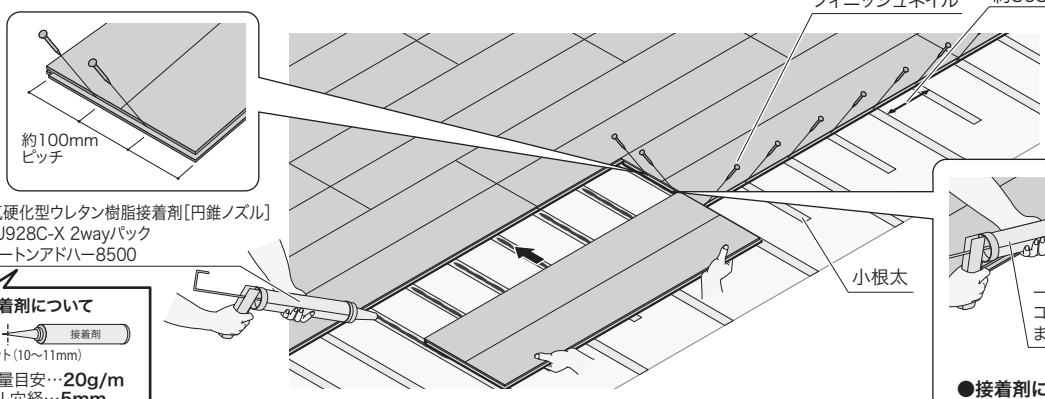
- ●フロアは必ず小根太付温水マットの小根太と直交になるよう割り付けてください。
- ●小根太付温水マットと周辺合板の継ぎ目がフロアの継ぎ目と100mm以上離れるように割り付けてください。
- ●小根太のセンターに必ず短辺サネ部がくるように割り付けてください。
- ●フロアは606mm・909mmずらし張り(柄によって異なる)のいずれかで割り付けてください。(アートフロアLIP6　オリジナルのみ、909mmずらし張り)

## 3 施工　※小根太付温水マット5.5mm+フロア12mmを使用する場合は、表面①-3をご参照ください。

- ●小根太部分と小根太延長部分に、一液湿気硬化型ウレタン樹脂接着剤[円錐ノズル](コニシKU928C-X 2wayパックまたはオートンアドハー8500)を塗布してください。
- ●フロアを配置し、長辺オスサネ部に約303mm(300mm以下)間隔、短辺オスサネ部に約100mm間隔で小根太部分に釘(フィニッシュネイル/頭幅1.9mm/頭厚1.3mm/長さ25mm以上)を打ってください。(打ち込み角度45°)
- ●2枚目以降は、配置がすんだフロアの短辺オスサネ下部に必ず一液湿気硬化型ウレタン樹脂接着剤[円錐ノズル](コニシKU928C-X　2wayパックまたはオートンアドハー8500)を塗布してから、新しいフロアを配置してください。
- ●接着剤塗布直後20分以内でフロアを張り合わせ、釘で固定してください。

●釘 … フィニッシュネイル
(頭幅1.9mm/頭厚1.3mm/
長さ25mm以上)



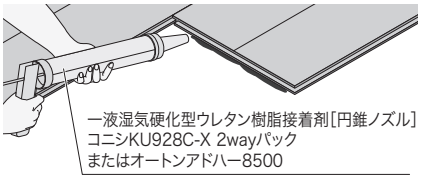




●接着剤について

塗布量目安…**20g/m**
ノズル穴経…**5mm**

### ご注意

必ずサネ接着をしてください。サネ接着を行なわないと目スキ・突き上げ発生のおそれがありますのでご注意ください。




●接着剤について

塗布量目安…**10g/m**
ノズル穴経…**3mm**

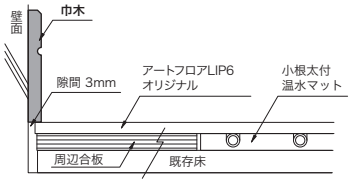
### ご注意

- ●釘打ち可能部分(小根太)以外には絶対に釘を打たないでください。
- ●小根太付温水マット上のフロア施工にフロアステープルは使用しないでください。樹脂パイプを貫通してしまった場合、釘打ち検知器による検知ができない可能性があります。
- ●フロアの裏面および小根太付温水マット全面には接着剤を塗布しないでください。
- ●接着剤がフロアの表面に付着した場合は速やかに乾いた布で拭き取ってください。硬化すると取れなくなります。

### 巾木をご使用の場合

フロアを施工後、巾木を取り付けてください。

**巾木納まり図**

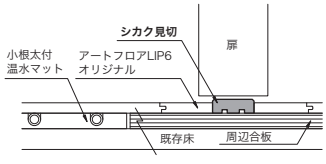



### 見切り材をご使用の場合

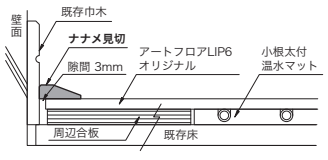
フロアを施工後、指定の一液湿気硬化型ウレタン樹脂接着剤[円錐ノズル](コニシKU928C-X 2wayパックまたはオートンアドハー8500)とフィニッシュネイルまたは隠し釘で施工してください。

**見切り材納まり図**

●シカク見切




●ナナメ見切




## 4 養生

- ●施工後は床をきれいに清掃し養生シートをかぶせ、養生テープで固定してください。養生シートの上から更に2.3mm以上の合板もしくはMDFなどで固定することをおすすめします。
- ●養生の際は必ず「木質床材用養生テープ」をご使用ください。
(推奨品:(株)寺岡製作所 P-カットテープ 415白)

## 5 運転

接着剤が完全硬化し、接着強度がでるまで5日以上(室温20℃の場合)必要です。ただし、軽歩行は24時間(室温20℃の場合)あれば可能です。また放熱板への通湯は、48時間経過してから行なってください。